

複数の文章を比較しながら読むことを通して論理的に考える学習の充実に関する実践

日 時 令和3年9月8日(水)・9日(木)・14日(火)・15日(水)

対 象 花巻市立花巻北中学校 第2学年 1クラス

指導者 総合教育センター 主任研修指導主事 小原 ひとみ

花巻市立花巻北中学校 教諭 中野 徹也

1 単元名

単元名：二つの文章を比較し、筆者の表現の効果について考えよう

教材名：「君は『最後の晚餐』を知っているか」、「『最後の晚餐』の新しさ」(光村図書 国語2)

2 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。(C(1)イ) 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ) ②「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①粘り強く文章を比較して構成や論理の展開、表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。

4 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

- ・言葉を手掛かりにしながら、筆者が述べている文章が「最後の晚餐」の図版とどう対応するのか、図版と本文とを結び付けて読むことができるようにする。
- ・二つの文章を比較して読むことを通して、一つの文章だけでは気付かなかった文章の構成や表現の効果について発見することができ、筆者の意図や文章が書かれた目的についても考えられるようにする。

5 情報活用能力について

本単元の実践で、生徒に必要なICTの基本操作

<input type="checkbox"/>	PCの起動や終了	<input type="checkbox"/>	写真や動画の撮影	<input type="checkbox"/>	写真や動画の視聴	<input type="checkbox"/>	写真や動画の編集
<input type="checkbox"/>	文字の入力	<input type="checkbox"/>	ファイルの呼び出し・保存	<input type="checkbox"/>	アプリケーションの操作	<input type="checkbox"/>	ブラウザでのインターネット検索
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	問題解決のための活用	<input type="checkbox"/>	クラウドの協働作業	<input type="checkbox"/>	情報モラル・情報セキュリティ

6 単元の指導と評価の計画（全体4時間）			
時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	○「君は『最後の晩餐』を知っているか」の全文を通読し、筆者の論の展開や大まかな内容をつかみ、学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「最後の晩餐」の図版を提示し、描かれている場面や用いられている技法について確認する。 ・筆者が「最後の晩餐」をどう評価しているのか、本文中から見付けられるように助言する。 	
2	○「君は『最後の晩餐』を知っているか」の文章を読み、内容を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「解剖学」「遠近法」「明暗法」について確認し、どこにその技法が使われているのか、「最後の晩餐」の図版と本文とを結び付けながら考えるように指導する。 ・筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と思った理由について、本文中の言葉を使ってまとめるように指示する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[知識・技能]① ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と述べている理由について、例示を基にまとめているかを確認する。 </div>
3 本 時	<p>○『最後の晩餐』の新しさの文章を読み、内容を捉える。</p> <p>○「君は『最後の晩餐』を知っているか」と『最後の晩餐』の新しさの文章を比較して、それぞれの文章の特徴を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者はレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」の何を新しいと考えたのか、レオナルドの「最後の晩餐」の図版と過去に描かれた「最後の晩餐」の図版とを見比べ、本文と結び付けながら考えるように指導する。 ・文章の種類やテーマ、着眼点など、観点に沿って情報を整理することを通してそれぞれの文章の特徴を捉えられるように指導し、二つの文章の共通点や相違点についても考えるように促す。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現]① シンキングツール（ロイロノート）・カード（ロイロノート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの文章に書かれていることを比較したり関係付けたりしながら整理することを通して、それぞれの文章の特徴や、二つの文章の共通点や相違点について捉えているかを確認する。 </div>
4	<p>○二つの文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考え、文章にまとめる。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や表現が、文章全体にどのような印象を与えているのか、その効果について考えるように助言する。 ・筆者はなぜこのような文章の構成や書き方にしたのか、筆者の意図や文章が書かれた目的とも併せて考えるように助言する。 ・二つの文章を比較することによって、初めて気付いたことや理解が深まったことについて考えるように促す。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現]② ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点を明確にしながら二つの文章を比較することを通して、文章の構成や表現がもたらす効果について捉えているかを確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度]① ワークシート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や表現の効果など、文章を比較して読む学習を通して考えたことを文章にまとめようとしているかを確認する。 </div>

7 本時の指導

(1) 本時の目標

目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。

(2) 学校におけるICTを活用した学習場面

A 一斉学習			B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>			<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った速度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
<p>A1 教員による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>			<p>B1 個に応じる学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>		<p>B2 課外活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	
<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>			<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>		<p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	
<p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>			<p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>		<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	
					<p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>	

(3) コンピュータでできること

<input type="checkbox"/>	個別のドリル学習
<input type="checkbox"/>	試行錯誤する
<input type="checkbox"/>	写真撮影する
<input type="checkbox"/>	念入りに見る
<input type="checkbox"/>	録音・録画と再視聴
<input type="checkbox"/>	調べる
<input type="checkbox"/>	分析する
<input type="checkbox"/>	考える
<input type="checkbox"/>	見せる
<input type="checkbox"/>	共有・協働する
<input type="checkbox"/>	その他 ()

(4) 活用するICT機器等

<input type="checkbox"/>	タブレットPC	<input type="checkbox"/>	ノートPC	<input type="checkbox"/>	ウェブブラウザ
<input type="checkbox"/>	デジタル教科書	<input type="checkbox"/>	大型テレビ	<input type="checkbox"/>	電子黒板
<input type="checkbox"/>	授業支援ソフト	<input type="checkbox"/>	動画コンテンツ	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションソフト
<input type="checkbox"/>	プロジェクター	<input type="checkbox"/>	書画カメラ	<input type="checkbox"/>	ドリル教材
<input type="checkbox"/>	その他 (スクリーン)				

(5) 学習場面でのICTの活用の仕方

シンキングツールを使いながら文章の種類やテーマ、着眼点など観点に沿って情報を整理し、二つの文章を比較することで気付いた共通点や相違点をカードにまとめることができるようにする。

【A 一斉学習】 [A1 教員による教材の提示]

- ・授業の導入でレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晚餐」と、過去に他の画家が描いた「最後の晚餐」の図版を提示し、描き方の違いを確認する。
- ・プレゼンテーションソフトを使って教科書本文を拡大提示し、サイドラインを引いたり説明を加えたりしながら、文章と図版を結び付けることができるようにする。

【B 個別学習】 [B3 思考を深める学習]

- ・シンキングツールを使いながら文章の種類やテーマ、着眼点など観点に沿って情報を整理し、二つの文章の共通点や相違点を考える。

【C 協働学習】 [C1 発表や話し合い]

- ・二つの文章を比較することで気付いた共通点や相違点をカードにまとめ、教師や友達に送信し、自分の考えを発表する。

[C2 協働での意見整理]

- ・自分の考えを書いたカードを友達と共有し、お互いの考えに対して意見や感想を述べる。

(6) 本時の指導案 (3 / 4)

	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 []評価の観点 ■活用するICT機器等)
導入 5分	<p>1 前時の学習内容を振り返る。 (1) 「解剖学」「遠近法」「明暗法」 (2) 筆者が「カッコいい」と評価した理由</p> <p>2 学習課題を把握する。 「君は『最後の晩餐』を知っているか」と『最後の晩餐』の新しさの文章を比較し、それぞれの文章の特徴について考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」の図版を提示し、筆者が「絵画の科学」と述べた三つの技法について想起できるようにする。 筆者がなぜ「カッコいい」と評価したのかを確認する。 ■ノートPC ■プロジェクター ■スクリーン ■プレゼンテーションソフト 本時は『最後の晩餐』の新しさという文章を読み、「君は『最後の晩餐』を知っているか」の文章と比較することを確認する。
展開 35分	<p>3 学習課題を解決する。 (1) 『最後の晩餐』の新しさで述べられているレオナルドの「新しさ」について読む。 ア 食卓を囲む構図 イ 頭部に光輪を描いていない人物 ウ 緻密な描写</p> <p>(2) 「君は『最後の晩餐』を知っているか」と『最後の晩餐』の新しさの文章を観点に沿って整理し、それぞれの文章の特徴を捉える。 ア 文章の種類 イ テーマ ウ 着眼点 エ 文章の構成 オ 表現(述べ方)の特徴</p> <p>(3) 二つの文章を比較し、共通点や相違点を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> レオナルドの「最後の晩餐」の図版と過去に描かれた「最後の晩餐」の図版とを見比べ、教科書の本文と結び付けながら、レオナルドの「最後の晩餐」の何が新しいのかを考えるように助言する。 ■ノートPC ■プロジェクター ■スクリーン ■プレゼンテーションソフト シンキングツールを使い、文章の種類やテーマ、着眼点など、観点に沿って情報を整理するように指導する。 ■タブレットPC ■大型テレビ ■授業支援ソフト(ロイロノート・スクール) 二つの文章を比較して気付いた共通点や相違点をカードにまとめ、友達に送信して共有し、お互いの考えに意見や感想を述べるように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇[思考・判断・表現]① シンキングツール(ロイロノート)・カード(ロイロノート) ・二つの文章に書かれていることを比較したり関係付けたりしながら整理することを通して、それぞれの文章の特徴や、二つの文章の共通点や相違点について捉えているかを確認する。</p> </div>
終末 10分	<p>4 本時の学習を振り返る。 《学習の振り返り例》 評論と解説という二つの文章を比べてみて、それぞれの文章の特徴がよく分かりました。文章は違っても、カッコよさや新しさなど、レオナルドの「最後の晩餐」がいかにすばらしいかを述べているところが、共通していると思いました。</p> <p>5 次時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二つの文章を比較して何が分かったか、比較する学習を通してどんなことを考えたかを振り返り、ロイロノートのカードに書くように促す。 ■タブレットPC ■大型テレビ ■授業支援ソフト(ロイロノート・スクール) 次時は、二つの文章の構成や表現の効果について考えたことを文章にまとめることを伝える。